

2016年から始まった新学術領域研究

「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて：関係性中心の融合型人文社会科学の確立」は、おかげで2021年3月、無事終了いたしました。

このたび、5年間の研究事業の最終報告会を開催するとともに、

グローバル関係学で築き上げた研究者のネットワークを今後も活かし、発展させていくべく、「グローバル関係学コンソーシアム」を発足させることにいたしました。

ぜひ、多くのおみなさまのご参加をお待ちしております。

代表：酒井啓子

**日時 ● 2月21日（月） 10時～17時** ■ 会議方式：Zoom

■ 申し込み方法

**2月19日(土)午後8時までに**

**<https://forms.gle/aoSganCNpeiYgfr1A>**

からお申し込みください。Zoom参加のためのリンクをお送りします。

午前の部 ● 10時-12時25分

研究報告

**水島治郎** | 千葉大学

**ブレグジットのグローバル関係学 — 中心と周縁の間で —**

**後藤絵美** | 東京外国語大学 × **帯谷知可** | 京都大学

**ローカルな経糸とグローバルな緯糸——「装いと規範」研究会から見てきたもの**

**五十嵐誠一** | 千葉大学

**コモンズと文理シナジー研究—メコン地域を事例として**

午後の部 ● 1時30分-5時

**基調講演**

**益田肇** | 国立シンガポール大学

「人々のなかの冷戦世界」著者、2021年度大佛次郎論壇賞（朝日新聞社主催）受賞

**冷戦とは何だったのか：  
「みえなかった／みなかった」ものを考える**

若手研究者による活動報告

全体討論

